

SDGsに取り組むお客さまを紹介します！

異分野の資源に新たな価値を吹き込む！



🏢 会社概要

会社名：株式会社EST（エスト）
代表取締役：忠津 寛史 氏
所在地：大阪府大阪市西区北堀江1-12-10 第1山田ビル6階中号室
設立：平成25年8月
従業員数：4名
事業内容：靴、鞆等の卸売、ネット小売
TEL：06-4305-7668



シートベルトやエアバックからファッション雑貨を生み出す

前勤務先（アパレル関係）の靴販売事業撤退を機に独立し、靴・鞆の卸売・ネット小売を営んでいます。

具体的には、廃棄車両のシートベルトやエアバックから、サンダル、鞆、コインケース等を生産するという、異分野のリサイクル素材の活用が、当社のSDGsへの取組みになります。

昨年6月から自社ブランド「rerer（レレー）」を立ち上げ、リサイクル素材を活用した商品を販売しています。rererには、realize（日常をサポートし様々な価値に気付く、具現化する）、reduce（役目を終え、廃棄されている価値を減らす）、resource（資源を活用し、新たな価値を吹き込む）という想いを込めています。

また、シートベルト等のリサイクル素材を活用することで、商品にビンテージのような味わい深さも付加できました。この結果、単なるリサイクル品ではない商品価値の高さも認められ、現在、問い合わせが増えています。



商品づくりで異業種とビジネス交流

異分野のリサイクル素材の活用には、面白さを感じるとともに、手間もかかります。

例えば、エアバックを鞆の素材にする場合、素材を一旦平面に開く必要があります。特にシートベルトの裁断には苦労しました。とても頑丈で、細かく編込まれているため、無理やり裁断すると一気にほつれてしまいます。試行錯誤の結果、東大阪市の金属溶断加工所に熱裁断をお願いすることにしました。工場の方もシートベルトを裁断することに最初は首をかしげておられましたが、完成品を見て「シートベルトがサンダルや鞆になるなんてすごいな。」と驚かれました。固定観念にとらわれずに取組んだ結果、異業種とのビジネス交流も生まれたことになりました。



当事者意識を持ち、SDGsの領域拡大へ

今後の目標として、自然に還る生分解性の素材を使ったアウトドア関連商品を開発したいと思っています。アウトドア人気の高まりと同時にキャンプ場などのゴミ問題も起きており、使用後は自然に還る商品が求められています。素材選びは大変ですが、粘り強く探し続けます。

また、SDGsのうち「貧困をなくそう」というテーマにも関心を持っています。以前に、開発途上国の子供たちが編んだ紐がフェアトレード商品として紹介されていましたが、素晴らしい出来栄で、多くの人に知ってもらいたく、当社で取扱いできないか検討しています。SDGsに取り組むことは企業イメージを高めることにもなり、経営にとっても必要不可欠だと思います。